



事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	利用できる図書館が増えることは、利用者の利便性向上につながるものとして必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	図書館の広域利用の推進により、多くの人が他の市町の図書館を利用してサービスを受けています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民の生涯学習支援のためにも、図書館の情報提供機能の充実が必要であり、そのためにも広域利用の妥当性は高いものと判断されます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	図書館同士の貸し借りではなく、直接利用者が他の市町の図書館に行き貸出を受けています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	

#### 今後に向けた課題の分析

現状では寒川町との協議が整わず、協定締結の目処が立っていません。しかし、利用者サービス向上の一環として、図書館の広域利用を推進するため、寒川町との相互利用に向けて継続して協議調整します。

### 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 予算額	平成24年度 試算額	平成25年度 試算額	平成26年度 試算額
事業内容		相互利用に向けて協議調整・相互利用	相互利用に向けて協議調整・相互利用	相互利用協定の協議調整、締結・相互利用				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.20	0.15	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		1,679	1,254	1,652	0	0	0	0
フルコスト (A+B)		1,679	1,254	1,652	0	0	0	0

### 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

#### 平成24年度の事業の方向性

現状の規模で継続
  拡大して継続
  縮小して継続
  廃止
  休止
  終了
  他事業と統合

#### <判断理由>

図書館の広域利用を推進し、寒川町の図書館が利用できるようになることで、利用者サービスの向上が図られます。しかし、現状では寒川町との協議が整わず、協定締結の目処が立ちません。事業の完了年度を設定できないため、計画事業とは位置付けせずに中央図書館業務事務に含めて継続していきます。

#### 平成24年度の取組方針

寒川町と相互利用協定を締結のため、継続して協議調整します。

#### 課長コメント

図書館の広域利用を推進するために、寒川町との相互利用に向けて、協議調整し、協定を締結しようと考えています。



事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民サービスの向上のため県が示した消防広域化推進計画に則り、消防広域化を検討する必要があります。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	消防の広域化により、消防力の強化が図られ市民サービスの向上になります。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	消防広域化によるメリットや課題を検討し、広域化が妥当なのか協議します。	○ 高 ● 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	将来的なコスト削減は図られるものと思うが、当初のコストは上がるものと思われます。	○ 高 ● 中 ○ 低	
今後に向けた課題の分析				
4市3町での消防広域化は様々な課題を解決する必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 予算額	平成24年度 試算額	平成25年度 試算額	平成26年度 試算額
事業内容		事前協議	検討委員会の開催	法定協議会等の設置				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.65	1.60	1.35	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		5,455	13,370	11,150	0	0	0	0
フルコスト (A+B)		5,455	13,370	11,150	0	0	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成24年度の事業の方向性	
○現状の規模で継続    ○拡大して継続    ○縮小して継続    ○廃止    ○休止    ●終了    ○他事業と統合	
<判断理由> 湘南地区の消防の広域化に関する検討委員会(鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町、大磯町、二宮町、平塚市)において協議してきましたが、広域化実現に伴う課題や調整を必要とする事項が数多くあることから4市3町での広域化は困難であるという結論に達しました。4市3町での消防組織広域化の検討は終了しますが、今後も業務のあり方等について情報交換をしていきます。	
平成24年度の取組方針	
課長コメント	広域化は、初動体制の強化や現場活動要員の増強など消防力の強化が図れることが分かった一方で事務処理システム等の導入に伴う財政負担や様々な調整課題があることが分かりました。また、人的・経済的な効果が期待できる指令業務の共同運用や初動体制の強化などは広域化の方法によらなくても広域連携や新たな協定により実現の可能性があると解りました。